

第2次
第7区まちづくり計画

令和3年4月1日

○第2次第7区まちづくり計画 目次

I まちづくりのテーマ

1. 環境に配慮しつつ、コミュニティが豊かで、地域資源を活かす地域づくりと環境変化（コロナウイルス感染症） 1
2. 第7区らしさ 1
3. まちづくりのテーマ 3

II テーマ別行動計画

1. 環境美化活動を推進するまちづくり 4
2. 安全で安心して暮らせるまちづくり 6
3. 伝統文化をみんなで支えるまちづくり 7

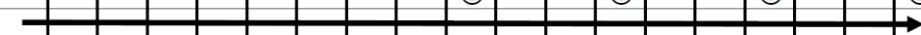
■ 第7区まちづくり計画 事業一覧表 8

■ リーディングプロジェクト：秋光川さくら遊歩道の整備図 9

○第2次第7区まちづくり計画について

この「第2次第7区まちづくり計画」は、平成24年3月に基山町まちづくり基本条例第17条に基づき策定された「第7区まちづくり計画」が策定から10年を迎えることから、実施する事業の内容を整理し、第7区内の動向や社会的、経済的要因などによる情勢の変化に応じて、必要な見直しを行いました。

なお、事業の適切な施策の展開等を図るため、3年毎に見直しを行うこととします。

区分/年度	平成								令和										
	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
策定年度 (改定年度)	○									◎			◎			◎			◎
計画の期間																			
見直し年度										○			○			○			○

I まちづくりのテーマ

1. 環境に配慮しつつ、コミュニティが豊かで、地域資源を活かす地域づくりと環境変化（コロナウイルス感染症）

地球温暖化（台風、大雨、地震他）の対策として、世界中で脱炭素社会の取り組みが拡大しています。

また、環境への関心の高まりの中で、人々の生活の価値観も変化しつつあります。

それは、モノより心の豊かさ、量より質、効率より潤いへ、

より自分らしい生き方を尊重するライフスタイルへ変化してきています。

このような生活に関する価値観の変化は、地域に対する考え方にも表れ、特に東日本大震災、水害、コロナ禍等、以降、安全で安心な暮らしを求めるようになりました。

これからの地域づくりでは、「環境に配慮しつつ、コミュニティが豊かで、地域資源を活かす地域づくり」が目標となると思われます。

この多岐にわたる地域づくりを生活環境の整備から交流、伝統行事の継承から人材育成といったことがらを多様なレベルで調和させ、地域の個性や快適さを醸しだし、コミュニティ豊かな地域にするためには、まず、そこに住む住民が自ら地域の将来像を描きだし、自分たちの力で積極的に推進していくという姿勢が必要です。

地域の個性や快適さは、人それぞれに感じるものが違いますので、地域づくりに対する合意を形成していくことが大切になってきます。

もちろん歴史に育まれたコミュニティも残っていますが、様々なまちづくり活動を通して新しい時代に応じたコミュニティを再構築していくことも必要です。

2. 第7区らしさ

第7区のまちづくりでは、第7区がもっている個性を活かして、基山町の他の地域や周辺地域とは違う地域づくりをしていくことが大切であると思います。では、第7区らしさとは何でしょう。

第7区を特徴づけているものとして、交通幹線（国道3号、九州自動車道、JR 鹿児島本線、甘木鉄道）が南北もしくは東西に通り交通の便がよく、北西から南東に流れる秋光川の低地とその両側に工業団地が立地していますが、コミュニティ豊かな古くからの集落も息づいていることです。

特に、秋光川沿線では、地域の方々の努力で、さくら遊歩道の整備が進み、第7区のまちづくりのシンボルとなっています。

これらの特徴、人的な資源、各集落に存在する歴史的資源などを活用しつつ、新たな色づけを検討していくことが第7区のまちづくりには必要です。

・第7区位置



・筑後川ウォッチング



3. まちづくりのテーマ

第7区の個性を活かし、魅力的な地域にしていくためのまちづくりの総合テーマを「桜でつなぐ心の絆 自然と歴史が息づくまち 7区」とし、この総合テーマをより具体的に展開する3つのサブテーマで構成します。

① 総合テーマ

「桜でつなぐ心の絆 自然と歴史が息づくまち 7区」

第7区は、基山町の南部の平地にあり、国道3号やJR鹿児島本線などで分断され、工業団地が多くの面積を占めているものの、古くからのコミュニティが息づいている地域です。

「桜でつなぐ心の絆」は、
第7区で取り組まれている秋光川のさくら遊歩道の環境活動で、地域が有している豊かなコミュニティを残すとともに新たな展開で新しい地域の絆を構築していこうという気構えを表しています。

「自然と歴史が」は、
工業団地が目立つ第7区ですが、地域をみていくとそこには古くからの集落とともに集落ごとにある寺社仏閣があり、伝統的な行事も継承されています。工業団地造成で失われかけた自然環境も地域の方の水質改善への取り組みやさくら遊歩道の環境活動への取り組みで関心が高まっています。

「息づくまち 7区」は、
歴史や自然を活かしたまちづくりを展開していこうという意気込みと地域のコミュニティの豊かさをしめしています。
天気の良い日は、さくら遊歩道を楽しみながら、集落ごとの神様を巡るウォーキングやサイクリングをするのも良いのかもしれません。そのような景観環境と生活環境を整えていくことが「第7区」のテーマです。

② サブテーマ 1 : 「環境美化活動を推進するまちづくり」

環境美化というと集落で行う清掃活動を思い描かれる方も多いとおもいますが、ここでの環境美化活動は、地域環境の改善活動まで含めたもので、秋光川沿線のさくら遊歩道の維持管理活動が中心となります。

もちろんそこには、自宅や集落での美化活動を行うことが基本としてありますが、秋光川の環境整備は、環境改善に取り組む 7 区のシンボリックな活動として位置づけられます。

区民も来街者も憩える場づくりを通して、周辺企業との連携・交流や地域のコミュニティの醸成を図っていきます。

③ サブテーマ 2 : 「安全で安心に暮らせるまちづくり」

7 区は、交通の要衝であるが故に、危険箇所も多くあります。

また、工業団地があったり、通学途中で人の目が行き届かないところがあるなど防犯上の問題箇所もあります。

加えて、秋光川の周辺の低地が広がっており、洪水や内水氾濫の危険性もあります。

近年外国人の研修生や、外国人労働者が増加し 2020 年基山町の在住外国人 247 名 1.4%で周辺町村も増加している現状です。高齢化も急速に進み 7 区組合世帯 165 世帯に対し 1 人世帯 29 戸 2 人世帯 52 戸高齢化率 33%公民館を中心に高齢化世帯の取り組みが必要です。安全で安心な暮らしのために地域の現状をみんなで確認するようなマップづくりを行うとともに、そのマップを活かした活動や防災体制づくりを区民で検討することが必要です。

④ サブテーマ 3 : 「伝統文化をみんなで支えるまちづくり」

第 7 区では、様々な組織が年間を通して数多くのイベントや歴史的行事が行われており、それらを第 7 区全体として、運営する多くの人たち（組織）も活発に活動しています。

しかしながら、工業団地の企業との連携や世代間の交流などを通じた行事の継承、活動資金などの課題が多くあります。

そのためには、地域を構成する様々な団体と行政との連携を図り、第 7 区を楽しむ、第 7 区を知る、第 7 区を売り出すなど行事の体系化を図っていくために、自立した運営に向けた仕組みづくりをする必要があります。

Ⅱ テーマ別行動計画

1. 環境美化活動を推進するまちづくり

ここでは、秋光川沿線のさくら遊歩道づくりとその維持管理活動を中心に、事業を示していますが、自宅や集落での環境美化活動を行うことが基本としてあります。

① さくら遊歩道の整備と管理

秋光川の環境整備は、現在の活動を継続しつつ河川公園としての整備を図っていくもので、環境改善に取り組む 7 区のシンボリックな活動として、区民も来街者も憩える場づくりを行い、周辺企業との連携・交流や地域コミュニティの醸成を図っていきます。

・植樹・植栽の推進と管理

現在、秋光川右岸にさくらの植樹とあじさい左岸に河津桜と皇帝ダリアが植えられています。

今後も剪定と管理の充実を行います。

② 遊歩道の舗装と周遊化

さくらロード右岸は、舗装、整備は進んでいますが、左岸も舗装整備を進め左岸、右岸含めた周回コースづくりを計画します。

他の道路を利用して周遊コースを設定します。

③ みどりの日の継続

毎月第一日曜日の除草等の活動が行われています。大変な作業ですが、地域でしっかり話し合っ、負担にならない仕組みと区以外の方でも気軽に参加できる仕組みを検討します。

④ 街路灯の整備

夜間や夕暮れの安全を考えると防犯灯を兼ねた照明が一定の感覚で欲しくなります。環境を考えると太陽光 LED 照明をさくらロード左岸に設置し右岸にも拡大し、街路灯の活用も検討します。

⑤ 河川の見守り活動

秋光川河川を中心に清掃活動と河川パトロールを実施河川の清掃活動を実施します。

2. 安全で安心に暮らせるまちづくり

安全で安心な暮らしのために地域の現状をみんなで確認するようなマップづくりを行うとともに、そのマップを活かした活動や防災体制づくりを区民で検討することが必要です。

① 防災（自主）の緊急連絡体制の充実

各組合毎の緊急時の連絡手法と体制を確立します。

② 避難訓練の実施

基山町ハザードマップを利用して、実際の災害を想定した避難訓練を実施し、災害時における災害弱者の避難支援の方法や、避難経路の確認を行います。

③ 防犯・交通危険箇所調査

7区は、交通の要衝であるが故に、危険箇所も多くあります。また、工業団地があったり、通学途中で人の目が行き届かないところがあるなど防犯上の問題箇所もあります。

日常生活での危険箇所を調査し、情報を共有します。

④ 子ども見守り隊の発足

ウォーキングをする人が増えています。できれば、ただウォーキングをするのではなく、子どもの通学時間帯にさせていただくことができれば、見守り活動につなげることができます。

⑤ 高齢化社会に向けた体制づくり

公民館、地域のお宮が活動の場として通いの場、卓球広場等ロコモ予防の活動を推進します。

3. 伝統文化をみんなで支えるまちづくり

第7区では、様々な組織が年間を通して数多くのイベントや歴史的行事が行われており、それらを運営する多くの人たち（組織）も活発に活動していますが、工業団地の企業との連携や行事の継承、活動資金などの課題が多くあります。やはり、第7区全体として、地域を構成する様々な団体と行政との連携を図っていくことが必要となります。

① 公民館活動（出前講座等）の充実

公民館活動は非常に盛んであり、かなり高度な講座も開催されていますが、公民館に出て来れない人やその利活用をスムーズにする工夫を行います。

② ドンキャンキャン等伝統的行事の振興

7区にのこる伝統的行事の継承と伝承を少子化に対応した仕組みづくりや呼びかけを行うとともに次代を担う子ども達や若者の育成を図ります。

③ 工業団地企業等との交流の場

工業団地の企業も地域の宝です。地域と工場の相互交流を通して地域の一員として協力してもらうような環境づくりを行います。（42社の企業を年間2回訪問）

④ 野口調整地の整備活用

グランドゴルフやイベント会場として活用するとともに維持管理を検討します

⑤ 桜まつり等のイベントの実施

さくら遊歩道を活かし、整備の促進を図るイベント企画を行います。
さくらロード、ウオークを企画を検討し推進します。

■ 第7区まちづくり基本計画 事業一覧表（※赤字は環境美化活動、紫安全で安心まちづくり、青伝統文化を支える）

令和3年4月1日～

テーマ	サブテーマ	まちづくりの展開	まちづくりのメニュー	内容	令和5年 度	令和8年 度	令和 11 年度	地域	行政	協働	リーディング事業	
桜でつなぐ心の絆 自然と歴史が息づくまち 7区	環境美化活動 を推進するま ちづくり	地域への 思いと現状を 知る ↓ 未来図を描く 地域の見直し ↓ これまでの活動を 活かす ↓ 地域にこだわる ・秋光川さくら遊歩道 ・歴史資源 ・伝統行事 ↓ コミュニティを より深める ↓ 自然と歴史が息づく ふるさと7区	①さくら遊歩道の整備と管理	現在の活動を継続しつつ河川公園としての整備	○			○	○	継続	秋光川 さくら遊歩道の整備 秋光川河川公園として区民や 来街者が気持ちよく憩える河 岸遊歩道づくりを協働事業と して行う。また、自然再生事 業等による環境改善や水質の 向上に取り組むとともに秋光 川河川のパトロールを強化し 維持管理体制づくりを検討す る。	
			②遊歩道の舗装と周遊化	周回コースづくり対岸の道路の整備(対岸の舗装)				○	○	○		継続
			③みどりの日の継続(区の事業として継続)	毎月7日の除草等の活動を発展継続第一日曜日に変更	○				○			継続
			④街路灯の整備	ソーラー発電式の防犯灯を兼ね街路灯を設定	○				○			継続
			⑤河川の見守り活動の推進	秋光川河川を中心に清掃活動とパトロール実態調査	○				○	○		新規
	安全で安心に 暮らせるまち づくり		①防災(自主)の緊急連絡体制の充実(区事業)	各組合毎の緊急時の連絡手法と体制の確立	○				○		継続	地域調査と 各種マップづくり 地域課題の調査とマップづく りを目的別に一つずつ作成 し、整備とコミュニティづく りを行う。 地域内防災のマニュアル作成 高齢化社会に向けた取り組み 一人暮らしの世帯の取り組み
			②避難訓練の実施要項の作成	災害時における災害弱者の避難支援マニュアル作成			○		○	○	継続	
			③防犯・交通危険箇所調査	日常生活での危険箇所を調査、	○				○		継続	
			④子ども見守り隊の発足	ウォーキングがてらの見守り活動	○				○		継続	
			⑤高齢化社会に向けた体制づくり	通いの場、卓球広場等ロコモコ予防推進	○				○	○	新規	
	伝統文化をみ んなで支える まちづくり		①公民館活動(出前講座等)の充実	各種講座の開催	○				○	○	継続	桜まつり等、遊歩道を 活かすイベントの実施 さくら遊歩道を活用したスケ ッチ大会や撮影会など地域の 負担にならないイベントづく りを心掛け、区民のみならず 区内の企業等も参加できる仕 組みづくりを行い、伝統的行 事の継承に繋げていく。
			②ドンキャンキャン等伝統的行事の振興	伝統的行事の継承と伝承を行う	○				○		継続	
			③工業団地企業等との交流の場	地域と工場の相互交流を図る、企業訪問	○				○		継続	
			④野口調整地の整備活用(区の事業として)	グランドゴルフやイベント会場として活用	○				○		継続	
			⑤桜まつり等のイベントの実施(区の事業として)	遊歩道を活かしたイベント企画	○				○		継続	

■リーディングプロジェクト：秋光川さくら遊歩道の整備

